第46巻3号2022年6月1日発行（毎月1日発行）

ONE BOOK ONE LIFE 2022 6月号

ヘレン・ケラーの灯火
Nippon Lighthouse

掲 示 板

「ガイド体験会」で声のかけ方、手の貸し方を

ボランティア友の会では、例年「ガイド体験会」を開催し、視覚障害の方へのガイドの基本を実習しています。コロナ禍のため一昨年は中止、昨年はオンライン開催でしたが、今年は３年ぶりに実施します。今回は当館の利用者にもご参加いただき、日常生活での困り事や、工夫なども伺います。街角で視覚障害の方に出会った時、落ち着いて、適切な声かけやガイドが出来るように、ぜひ一度ご参加ください。

日時　７月14日(木)13時～15時30分
場所　当館４階会議室と当館周辺
講師　当館サービス部職員
申込　３階総務係(電話06-6441-0015)
申込締切　６月30日(木) ※先着20人で締切

専門音訳講習会「古典」と「小説の読み方」開講

毎日新聞大阪社会事業団と当館主催の専門音訳講習会２コースの受講者を募集します。

申込は、いずれも当館ホームページ(http://www.lighthouse.or.jp/iccb/)で実施要項をご確認の上、お願いします。

問合せ先　録音製作係(電話06-6441-1017)

◆専門音訳講習会「古典」コース

さまざまな音訳に対応できるよう漢文や古文、古文書の読み方と音訳技術の講習を行います。

日程　毎回土曜日。６月25日午後、７月２日午前、７月９日午後、７月23日午後、７月30日午前と午後。時間は、午前は10:00～12:00、午後は13:30～15:30。
講師　当館音訳古典チームメンバー
受講料　1,200円　　定員　15人
申込締切　６月11日(土)

◆専門音訳講習会「小説の読み方」コース

小説や児童書などの会話文について、内容が伝わりやすい読み方の実技を１日で講習します。

日程　８月４日(木)、８月26日(金)10時～15時
　全１回４時間を２回開催
講師　前田綾子さん(当館音訳ボランティア)
受講料　1,400円　　定員　各回12人
申込締切　６月30日(木)

６月の休室と特別行事について

６月９日(第２木曜)＝エンジョイ！グッズサロンと図書貸出は書庫･在庫整理日のため休室。

６月19日(日)＝日本ライトハウス・チャリティコンサート(ザ・シンフォニーホール)

視覚障害者の読書量と読書手段などを知る手立てに
国会図書館の「視覚障害者等を対象にした読書アンケート調査」公開

視覚障害等の方々が“実際にどのような読書をしているか”は、点字・録音・電子書籍の製作や対面リーディング・図書貸出・ICT機器の利用支援サービスなどを行う上で、基礎とすべき情報です。しかし、これまで、そうした実態調査は間接的か部分的にしか行われてきませんでした。そんな中、国立国会図書館が実施した「視覚障害者等を対象にした読書及び情報行動に関するアンケート調査」の結果が発表されました。貴重な内容ですので、主な結果をご紹介します。（館長　竹下 亘）

全盲の人を中心に読書困難者739人から集計

この調査は、2021年秋、日本視覚障害者団体連合など国内の障害者５団体を通して、739人の回答を集計。回答者の障害は、全盲(251人・34.0%)、ロービジョン(162人・21.9%)、上肢障害や全身性障害等(118人・16.0%)、ディスレクシア(読字が困難な人、103人・13.9%)。年齢は、６歳から89歳で、50代から70代が６割弱。回答者の選定は、ICT利用者や中高年に偏らないように留意したそうですが、男女比が65%対35%、出生時から障害のある人が30%、障害者手帳取得後21年以上の人が61%など、中途障害のロービジョン者が増え続けている視覚障害者の現状とややずれている感は否めません。

サピエ利用者の73%が年間21冊以上を読書

「この１年間で読んだ本や雑誌等の冊数」は、「21冊以上」が25.6%で最多。一方、「読んでいない」は20.7%。ただし、これを図書館の利用経験とクロス集計すると以下のようになります。

＊公共・学校図書館等の利用経験のある人
「21冊以上」64.6%、「読んでいない」18.4%
＊点字図書館の利用経験のある人
「21冊以上」72.5%、「読んでいない」11.5%
＊サピエ図書館の利用経験のある人
「21冊以上」73.1%、「読んでいない」14.6%

視覚障害者等の場合、点字図書館やサピエ図書館の「利用経験のある人」が圧倒的にたくさん本を読んでいることが分かります。

また、「今後読みたい本のジャンル(複数回答)」では、「小説・エッセイ」が60.9%で最多。続いて「趣味・実用」41.3%、「歴史・地理」と「医学・自然科学」が同率で31.3%でした。

「どういう目的で本を読みたいか」については、「趣味・娯楽」が74.2%で最多。続いて「日常生活に必要な情報を得るため」56.6%、「友だちや知人と話題を共有するため」36.8%でした。

「読書を諦めたことのある」視覚障害者は7割

重要な設問は、「自分が読むことができる形式(紙、電子書籍等)で本が入手できずに読むのを諦めたことがあるか」でした。回答を全体と障害別に分けると以下のようになります。

＊諦めたことが「よくある」「ときどきある」
59.8%（全盲70.4%、ロービジョン66.0%、上肢・全身性障害36.8%、ディスレクシア50.5%）
＊諦めたことが「ほとんどない」か「まったくない」
40.2%（全盲29.6%、ロービジョン34.0%、上肢・全身性障害63.2%、ディスレクシア49.5%）

全体では大差がありませんが、視覚障害者の「諦めたことがある」率の高さが目立っています。

電子書籍、音声デイジーへの高い関心

また、「読書形式(紙、電子、点字、音声等)」について「これまでに読んだ形式」と「これから読みたい形式」を問う設問では、「電子書籍(EPUB等)」や「音声デイジー」を「これから読みたい」という人が46～47%で特に多かった他、「オーディオブック」への関心が高めでした。

この他、「情報を得るために重要としている手段(複数回答)」では、「テレビ(一般放送)」が71.6%で最多。続いて「パソコン」66.3%、「スマートフォン・タブレット端末」64.0%でしたが、視覚障害者の割合もほぼ同じで、ICTの利用が想像以上に広がっていることが分かりました。

この調査報告は、ネットで「国立国会図書館情報行動」と検索すると上位に表示されます。

拡大掲示板

PR動画「サピエ図書館で読書の喜びを！」公開

全視情協では、サピエ図書館をもっと多くの方々、特に障害者手帳を持たない視覚障害の方や本を読むのが困難な読字困難、身体障害の方に知っていただくため、ＰＲ動画「サピエ図書館ですべての人に読書の喜びを！」を製作し、インターネットでの公開を始めました。

動画は21分間で、映像やイラストを交えてサピエ図書館の概要から利用できるメディア、音声デイジー等の再生の様子、視覚・読字・身体障害の利用者の生の声などを紹介しています。

動画は全視情協のホームページでご覧いただけます(http://www.naiiv.net/)。ぜひ一度ご覧いただくとともに、読書困難な方をはじめ、お知り合いにもご紹介ください。

バリアフリー2022で「目のコーナー」を開催

当館では、「バリアフリー2022～第28回高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展」で、３年ぶりに「目の見えない方・見えにくい方のための展示コーナー」を開催します。

日時は６月８日(水)から10日(金)の10時から17時。会場は大阪市住之江区のインテックス大阪(大阪メトロ南港ポートタウン線「中ふ頭駅」から徒歩５分)。今回は、スポーツメーカーミズノの超軽量白杖、視覚障害者向け歩行ナビゲーションシステム「あしらせ」など新製品を含め、14社が出展。特別ブースでは、昨年テレビで放映された「恋です！～ヤンキー君と白杖ガール」で使われた機器や用具を紹介します。

入場無料。当日入場も出来ますが、事前登録を推奨。https://www.tvoe.co.jp/bmk/visitor/でお手続きください。

2021年度の「ボランティア交流会」を玉水記念館で開催

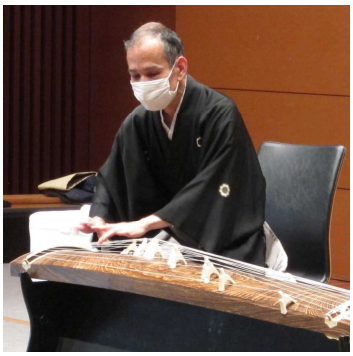
当館からボランティアの皆様への日頃の感謝を表すとともに、ボランティアと職員の交流を深める「ボランティア交流会」が４月28日午後１時から３時30分、３年ぶりに近隣の玉水記念館を会場に開催され、約70人が集いました。

本来は2021年度の交流会で３月の予定でしたが、コロナ禍により延期。従来は午前10時から午後３時頃まで、感謝式典に始まり、記念講演や演奏会、ボランティア友の会総会、昼食を囲んでの懇談と受賞者のスピーチや館の報告、そして友の会バザーなど盛り沢山なプログラムでしたが、今回は感謝式典に続き、友の会世話人会メンバー(本誌８頁に掲載)と新任職員の紹介、記念演奏会に絞った内容となりました。

感謝式典では今回(前年度)、活動歴30年以上を迎えられた方４人と20年以上の方10人(本誌４月号でご紹介)の内、出席された８人の方に橋本照夫理事長から感謝の言葉と共に感謝状を贈呈しました。式典後のスピーチでは、皆さん、ここまで続けて来られたことやボランティアのお仲間への感謝、思い出に残る出来事などを語られ、満場の拍手を受けておられました。

また、記念演奏会では、大阪市の箏曲家で、

当館の点字楽譜の顧問もしてくださっている竹内一（はじめ）さんが出演。お琴で名曲や時には歌謡曲のさわりを奏でながら、幼少期の音楽との出会いから盲学校で琴を習い始めるまでの微笑ましいエピソード、高等部で音大への進学を志し、箏曲の大師範に弟子入りしてからの稽古の苦労、さらに短大入学後、点字楽譜がない中で毎週新しい曲を習得する苦闘と大学に編入学するまでの辛苦、そして2013年、ついに宮城会琴・三絃大師範になるまでの歩みを飾らない言葉で語られ、音と言葉で心に響く演奏会となりました。



ダスキン研修生は今（1）～ベトナムのフォンさん

点字製作係　大下　歩

当館では、1999年から「ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業」に協力し、これまでに30人の視覚障害研修生を迎え入れてきました。彼らが今どんな活躍をしているのか、自らも海外研修の経験のある大下職員にインタビューしてもらい、不定期連載することにしました。（竹下）

国連開発計画職員として活躍中のフォンさん

ダオ・トゥ・フォン（Dao Thu Huong）さんは、ベトナム出身の37歳。ハノイで母と二人暮らし。12歳の頃、全盲になり、2011～12年、26歳の時、ダスキン研修生として来日。当館にも訪れ、インクルーシブ教育を中心に色々な研修を体験しました。現在、国連開発計画(UNDP)職員として活躍中です。

盲学校と一般校で学び、英語通訳に

小学校は、地域の一般校に入りました。でも４年生のとき、視力が落ちたので、盲学校に移って点字やパソコンを習いました。高校は、地域の一般校に戻りました。点字の教科書は、あちこちの盲学校から取り寄せました。足りない分は、家族や友達が音読したのを録音してくれて。宿題は、文系の科目はパソコンのデータで出し、理系の科目は答えを先生に口頭で伝えていました。大学では英語教育を専攻しました。在学中にサマリタンズ・パースという、災害支援や障害者支援などをする国際ＮＧＯが開いたチャリティコンサートを手伝ったんです。そのご縁で、「卒業したらうちで働かないか」と言われ、英語の通訳をすることになりました。

アクセシビリティを学んだ日本研修

日本に行ったのは、就職して１年経った頃です。研修テーマは、「日本のインクルーシブ教育について」。10カ月の滞在中、日本ライトハウスの他、大阪の小学校や神奈川県の盲学校にも行きました。盲ろうの東大教授福島先生と日本語の指点字で話すチャンスもありました。日本の教育は、視覚障害児にとってとてもアクセシブルでした。たくさんの点字の教科書とサピエ図書館の本。触ってわかるミニチュア模型も豊富です。あちこち旅行したのも良い思い出です。植物園や博物館、お花見にスキー。竹下館長のお家にも５日間泊めてもらいました。

デイジー教科書製作を経て国連職員に

まず所属のＮＧＯに通訳として復帰しました。そして、マルチメディアデイジー教科書を作る団体「リフト・ユー・アップ」をハノイで立ち上げました。2014年から2年間は、オーストラリアの大学院でコミュニティ開発を学びました。

2019年には、世界各国で開発途上国の経済、社会的発展のためのプロジェクトを進めている国連開発計画(UNDP)に転職しました。最近取り組んだのは病院でのプロジェクトです。そこには車椅子用のトイレがなく、リハビリのための機器類も２階に置いてありました。そこで、院長たちに働きかけて、状況を改善しました。

読者の皆さんへのメッセージ

私のこれまでの話をシェアする機会をいただけてうれしいです。今、私がこうして障害者の権利を守る仕事が出来ているのは、日本でいろいろな経験をして刺激をもらったからです。どうもありがとう。また日本に行ける日を心待ちにしています！

＜インタビューを終えて＞　フォンさんは、物腰柔らかでありながら、とても真面目で熱い人でした。「学び」を大事にしているなと。「昔はもっと上手だったんだけど」と言いながら、流暢な日本語でも話してくれました。日本で出会った人や場所の名前を次々挙げて懐かしんでいたのも印象的でした。（歩）

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2022年4月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点 字 製 作 ♣

4月分完成点字図書
12タイトル44冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

いまどきの「ドイツ」と「日本」
(M・メントライン 他) 4冊
点:山﨑好恵
校:河村牧子 橋詰玲子
イミダス現代の視点2021
(イミダス編集部編) 5冊
点:工藤京子
校:増田芳子 平野 健
お医者さんが薦める免疫力をあげるレシピ(大塚亮) 2冊
点:山根真紀子
校:松本稔子 平野 健
季語ものしり事典(新海均) 3冊
点:木内孝子 辻 志津江
校:平野 健
鬼滅の刃21(吾峠呼世晴) 1冊
点:南 佳奈
校:栗栖 忍
〈共通テスト〉英語リーディングドリル(大岩秀樹) 8冊
点・校:グループONE
この地獄の片隅に
(A・レナルズ 他) 5冊
点:本条祐子
校:谷村純子 八木光子
殺意と絆の三ツ峠(聖岳郎) 4冊
点:田中真理子
校:山口節子 宗像真李子
スーパーエンジェル
(島田雅彦) 2冊
点:古林敬子
校:春江由美子 橋詰玲子
セルフ・デベロップメント・ゴールズ(葛西龍也) 3冊
点:清水浩子
校:生嶋貞夫 平野 健
「とらわれ」「適応障害」から自由になる本(勝久寿) 3冊
点:黒堀比佐子
校:前田裕子 平野 健
ルワンダでタイ料理屋をひらく
(唐渡千紗) 4冊
点:川崎安恵
校:中沢由美子 木村寿子
平野 健

【お詫び】前号に記載した3月分の完成点字図書の製作者に誤りがありました。お詫びして再掲載いたします。

どこへ行っても恥をかかない世界の「常識」図鑑
(御手洗昭治 他) 2冊
点:春江由美子
校:古林敬子 加尾美千子

♠ 録 音 製 作 ♠

4月分完成録音図書
13タイトル(書名、著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

IT時代の山岳遭難
(木元康晴) 5:57
音:片畑令子
校:鈴木ますみ 寺田美枝子
編:石井ふみ代
大人のバナナジュース健康法
(松生恒夫医学監修) 2:58
音:阪本由美子
校:鈴木ますみ 金井典子
編:柳本絹子
金のなる人(成毛真) 4:27
音:澤田和代
校:石原英子 畑 豊弥
編:山下富代
古典つまみ読み
(武田博幸) 10:45
音:水野順子
校:伊東晴子 久保洋子
植田美穂子
編:荒木良子
手話の学校と難聴のディレクター
(長嶋愛) 5:16
音:坪田捷子
校:平田恵美子 小林万智子
編:辻野玲子
シリアで猫を救う
(A・アルジャリール 他) 7:12
音:岩井悦子
校:大坂陽子 佐藤圭子
松井喜美代
編:植田美穂子
立川談志遺言大全集 付録「月報」
(立川談志 他) 2:26
音:佐々木マス子
校:片岡珠子 有末 道
松井喜美代
編:岩崎千佐子
誰かに教えたくなる科学の雑学
(池田圭一) 8:09
音:片岡珠子
校:佐々木マス子 有末 道
松井喜美代
編:吉川順子
陶芸は生きがいになる
(林寧彦) 6:32
音:岡﨑節子
校:栗本慶子 岡 香代子
編:辻野玲子
日本全国地魚定食紀行
(うぬまいちろう) 6:00
音:佐藤圭子
校:石原英子 山下富代
編:辻野玲子

ぼくは蒸留家になることにした
（江口宏志） 5:43
音:脇本登志子
校:羽田直美　松井喜美代
編:山崎千代子
民主主義とは何か
（宇野重規） 8:05
音:阿部眞喜
校:上月直子　松井喜美代
編:植田美穂子
モリー、100匹の猫を見つけた
保護犬(C・ブッチャー） 15:44
音:竹内清子
校:佐藤圭子　渡辺一枝
編:上月直子

♥ プライベート製作 ♥

点字図書

万博記念公園 園内マップ　1冊
点・校:清水浩子
フルート教則本
（吉田雅夫） 2冊
点・校:橋本和代　辻野純代

録音図書

江戸切絵川霧の橋　2:00
音・編:三原太郎
KOIZUMI　ステレオCD
システム取扱説明書　1:36
音・編:坪田捷子

◆ 定 期 刊 行 物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2022年5月号
発送:木下正義　中島小夜子
中島千恵　西垣泰子　山田一弘

『読書』2022年5月号
デイジー版　1:10
音:下山とよみ
発送:井川倭文子　板波キミ
並木昌子　宮野興子

『JRニュース』2022年5月号
点字版　4冊
点・校:金曜日グループ

『お役立ち目録～オカルト』
2022年5月号
デイジー版　0:12
音:下山とよみ

『子供の科学』2022年3月号
デイジー版　3:12
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子　岸田素子　夛田禮子
田中英子　土井明美　宮 清子
吉田 薫

『サイエンスかわら版』2022年3月号
デイジー版　3:49
音・校・編:情報文化センター
「理数チーム」
河原眞知子　夛田禮子　畑 豊弥
濵名あきよ 松本紀代 溝渕久美子
本村英子

『日経パソコン』
2022年4月号　デイジー版　3:32
音・校・編:情報文化センター
石井那智子　岡村佳子　小倉玲子
桂 公子　金井典子　川端真知子
北川温子　木村純子　小林幸子
小林万智子 小森佳津子 阪本由美子
佐藤圭子　佐山敦子　嶋川真理子
下山とよみ 寺下千秋 寺田美枝子
西村郁子　二宮真理　橋本万里
浜本裕子　平田惠美子　福島博子
前田元子　三上 菊　水谷和子
溝渕久美子　目連雅子

『英語よもやま通信』2022年5月号
デイジー版　2:29
音・校・編:情報文化センター
「英語チーム」
伊東晴子　中島美穂　中島 睦
西田芳美 西和田惠子 弘津千加子
眞津野秀子　山本 香　脇本登志子

『週刊新潮』デイジー版
◆2022年4月7日号　9:28
今岡松代　岡村勝彦　奥田和美
上田啓子 河原眞知子 衣田智恵美
木村加代　黒河典子　後藤泰子
正田潤子　中村千賀子　中村直美
中本和代　西田文子　野村美穂子
兵頭つね子　深津綾子　藤原雅子
福田佳代
編:中本和代

◆2022年4月14日号　11:11
畔田文恵 稲田至功子 上原多美子
大橋恵子　岡﨑節子　加藤和夫
上村裕子　川端砂代子　久保諄洸
坂本雪枝　阪本由美子　佐藤公平
白井律子　鈴木恵子　髙田雅子
武市敦子　寺下千秋　西村早斗子
濵 洋一　廣田あけみ　福井栄子
増田典子　向髙寿子　山本スズ子
山本晴代　和布浦眞里子
編:西村道子

◆2022年4月21日号　10:35
荒木節子　岩谷友子　越智真弓子
北村優美子　帰村千恵　澤田和代
清水百世　新熊美衛子　髙久俊子
寺西竹子　成田次雄　成田由起
西村道子　西山トシ子　直場徳宥
橋本明子　橋本佳子　服部秀美
星子鐵郎　前田元子　松原和子
松本昌子　山下 豊　山田栄利子
編:デイジー大阪

◆2022年4月28日号　10:05
畔田文恵 有川美津子 大久保美弥
大島幸枝　大塚しづ子　大森恵子
岡﨑節子　上村裕子　神谷勉子
川添美智子 川本くるみ 北元直子
久下悦子　小池雅子　阪本美紀
坂本雪枝　佐藤公平　澤井 稔
地福延代　嶋津美香　鈴木栄二
髙橋孝子　武市敦子　田宮加代
地上博子　坪田捷子　冨田久美子
西田千波　野村純子　橋村惠子
濵 欣子　兵頭賢一　平田惠美子

廣田あけみ　前田元子　松浦洋子
吉田典子 和田啓子 和布浦眞里子
編:佐古智子

◆新潮音訳協力グループ
八幡市民図書館朗読ボランティア
　サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
　「草笛会」
グループN-BUN
デイジー大阪

☆ 電子書籍 ☆

◆テキストDAISY図書
わたしの生涯
　テキスト化:加藤珠子
　　森 美恵子　森田敏子
　DAISY編集:森田敏子
　DAISY校正:足立佐紀子
MONTHLY “日本一”明るい
　経済新聞4月号
　テキスト化:木原富子 千徳節子
　　新田 優

❣ 対面リーディング ❣

4月　利用者3人･5件

『対面リーディング通信』編集
伊東晴子　木村謹治　澤井 稔
細井昌子

❦ 館内お手伝い ❦

図書･情報サービス
板波キミ　板谷照美　上田敬子
片岡忠克　木村謹治　帰村千恵
小寺高子　武部はつ子　田間泰子
塚本紀子　逸見恵子　深見真理
待田敏彦　森本益子　渡邊洋子
［茨木市バラの会］
片倉康子　永崎利恵

整理・情報サービス
板波キミ　板谷照美　鱗星千恵子
岡田満千代

電子書籍
池尻三千子　西村佐世子

◆4月の貸出実績
点字　168tl　DAISY 3587tl
テープ　3tl
★4月の人気貸出図書★
（当館製作図書。順不同。）
【点字図書】
鬼滅の刃 19(吾峠呼世晴)
ウンコはどこから来て、どこへ
　行くのか(湯澤規子)
城郭考古学の冒険(千田嘉博)
こちら、まほろば動物病院
　(鷲塚貞長)
【録音図書】
頻尿･尿もれ(文響社)
関西怪談(田辺青蛙)
女武者の日本史(長尾剛)
逆転の戦国史(砂原浩太朗)

✎ 音 声 解 説 ✍
(ボイスぷらす)

◆シネマ･デイジー
「警部補 古畑任三郎 3rd season
　Disc.1」
　ナレーション:尾崎一恵
　台本制作･編集:尾崎一恵
　　中嶋真弓
　台本校正:藤井倫子

◆上映協力
わろう座映画体験会
　「トランボ ハリウッドに最も
　嫌われた男」(4月15日)
尾崎一恵　鹿津直美　中嶋真弓
西川真知子 平林育子 廣野美代子
藤井倫子　古澤滿壽枝

✉ パソコンサポート ✉
(ボイスネット)

【4月実績】
週報:和田眞由美
HP:中条正信

《一ツ橋綜合財団助成事業》
　アクセシブルな電子書籍、シネマ・デイジー等、当館の先端的なメディアは公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成により製作されています。

❋ ご 寄 附 ❋

宗教法人高野山真言宗社会人権局
日本出版販売労働組合
新山忠義　野村和彦
　　(敬称略をご容赦下さい)

　高野山真言宗社会人権局様と日本出版販売労働組合様は、それぞれ、児童向け点字雑誌「アミ･ドゥ･ブライユ」の発行趣旨にご賛同くださり、貴重なご厚志を賜りました。篤く御礼申し上げます。

ボランティア友の会世話人会報告
　5月12日(木)10:00～11:30
　出席者:池本 植田 大安 奥
　　尾崎 木虎 田中 向井 山田
　　(館から竹下 谷口 徳嶋)
　<館からの報告>
　･2021年度事業実績報告
　･ボランティア交流会費用に
　　ついて
　<協議事項>
　･ボランティア交流会振り返り
　･ガイド体験会の検討
　<次回>7月14日(木)
　　ガイド体験会終了後

今年度の「ボランティア友の会世話人会」のご紹介

今年度の世話人会がスタートしました。世話人の任期は原則２年で、奇数月の第２木曜日に世話人会を開催。館との情報・意見交換やボランティア交流会、ガイド体験会、施設見学会などの企画・実施を担当します。皆さんの代表ですので、ぜひご支援ご協力をお願いします。

世話人の皆さん(敬称略)。前列左から植田美穂子(録音･代表)、大安徹雄(点字･書記)、尾崎一恵(音声解説･会計)、池本滋子(対面･会計監査)。後列左から山田理子(電子書籍･新任)、向井民子(対面･新任)、木虎真紀(点字)、田中恵子(録音)、奥幸子(録音)。

全国の図書館の障害者サービスの実態を調査

全視情協(全国視覚障害者情報提供施設協会)が厚生労働省の委託で行った「点字図書館等におけるアクセシブルな書籍等の提供体制及び製作状況に関する調査研究事業」の報告書が発行され、５月初旬、全国の図書館等に配付されました。この調査は、全国の公共図書館310ヶ所、点字図書館81ヶ所、視覚支援学校図書室58ヶ所から集めた「アクセシブルな図書等の製作」「サービス提供」「ボランティア等の養成・活動」「ＩＣＴ機器の情報提供や利用支援」等の状況をまとめたもので、今後の視覚障害者等の読書環境の改善の基本資料となることが期待されます。主な内容は改めて本誌でも紹介したいと思います。

ボランティアの飯村康志(いいむらやすし)さんがご逝去

図書・情報係で貸出作業をお手伝いくださっていた飯村康志さんがご病気のため、４月12日、ご自宅で亡くなられました。飯村さんは、当館の音訳ボランティア飯村紀子さんのご夫君で、1998年から録音製作係のコピー作業等をお手伝いくださり、2008年からは図書･製作係の貸出作業も並行してお手伝いくださいました。また、2015年度と2016年度にはボランティア友の会の世話人もお引き受けくださいました。20年余りに亘るお力添えに感謝し、心からご冥福をお祈りいたします。

人事異動のお知らせ

当館では４月から５月、以下の職員採用を行いました。どうぞよろしくお願いいたします。

＊サービス部図書・情報係　大西純代(すみよ)

＊製作部メディア製作センター
　デイジーユニット　廣政史佳(ひろまさふみか)

あ ゆ み

【５月】

７日 視覚障害者ICTサポート講習会開講
12日 サービス部休室(書庫･在庫整理日)
　ボランティア友の会世話人会
　情報文化センター職員会議(15:30～17:00)
14日 オープンデー(館内見学日、５人)
19日 点訳ボランティア養成講習会開講
25・26日 日本ライトハウス評議員会･理事会

予　定

【６月】

８～10日 バリアフリー展(インテックス大阪)
９日 エンジョイ！グッズサロンと図書貸出は休室(書庫･在庫整理日)
11日 オープンデー(館内見学日、要予約)
19日 日本ライトハウスチャリティコンサート

編集後記　友人からいただいた胡蝶蘭が今年も花を咲かせ、2ヶ月位きれいに咲いてくれています。次の年も、その次の年も咲くとは思っていませんでしたが、ボランティアのＩさんに、「お水をやっていれば毎年咲くよ」と教えていただき、週に一度、水やりをして過ごしています。別館でも、情文の新館開館祝いにいただいた胡蝶蘭を職員の方が大事に育てて、毎年咲いているそうです。意外に強く、寿命も長いですね。胡蝶蘭は「蝶」を含む名前や高貴で清楚な雰囲気を持つ姿から「幸福が飛んでくる」「純粋な愛」という花言葉を持ちます。世界に早く幸せが飛んできてほしいと願う毎日です。(一)

ONE BOOK(ワン ブック) ONE LIFE(ワン ライフ) 2022年6月号
発　行　社会福祉法人日本ライトハウス
　情報文化センター(館長 竹下 亘)
住　所　大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
　TEL 06-6441-0015　FAX 06-6441-0095
　E-mail info@iccb.jp
表紙絵　武部はつ子
発行日　2022年6月1日
定　価　1部100円　　年間購読料1,000円

公式SNS はじめました　twitter　Instagram　YouTube